

平成 18 年 9 月 28 日

各 位

 **タキロン株式会社**  
ビジネスサポート部

**駐車場も芝生に・・・支持脚にスリットを設け通気性を高めて芝生の育成を促進する 緑化駐車場用芝生保護材「ペブルベース」のニュータイプを新発売**

タキロン株式会社（大阪府中央区 森下 誠二社長）は、現行の駐車場用芝生保護材「ペブルベース」の支持脚にエアレーション機能用のスリットを設け、通気性を高め芝生の育成を促進する 緑化駐車場用芝生保護材「ペブルベース」のニュータイプを 10 月 1 日より販売を開始します。

「ペブルベース」は、芝生の緑地でありながら駐車場として使用が可能な耐荷重性に優れた芝生保護材で、「ペブルベース」の支持脚頭頂部がタイヤを受け止めます。材質は、ポリプロピレン樹脂リサイクル材を使用しています。（現行品は、エコマーク認定で、ニュータイプ品は、エコマーク申請中）芝生表面には「ペブルベース」の支持脚頭頂部だけが見え、芝生に規則正しく敷いた小石のような景観になります。

芝生の良好な生育条件の一つに、土壌中への空気の供給があります。「ペブルベース」のニュータイプは、支持脚にエアレーション機能用のスリットを設けることにより、土壌へ空気を効率よく供給します。空気の供給により土壌の締め固まりが抑制され、芝生の良好な生育を促します。

## 1．緑化駐車場の必要性・マーケット状況

近年問題となっているヒートアイランド現象の対策として、特殊緑化が注目されています。

特殊緑化には、屋上の緑化、壁面の緑化、駐車場の緑化があり、2008 年には 800 億円市場への拡大が予測されています。

緑化された駐車場は、アスファルト駐車場に対して温度低減効果があり、ヒートアイランド現象対策として期待され、各自治体により検証試験が行なわれています（大阪府、兵庫県など）。

また、工場立地法では特定工場に敷地面積の 20%以上の緑地を設けることを義務付けています。平成 16 年の法改正で、緑化駐車場が緑地としてカウントでき

るようになり（最大5%まで）、工場緑化においても緑化駐車場が今後伸びると予測します。

緑化駐車場に求められる機能としては、ヒートアイランド対策効果を発揮するための高い緑被率（保護材露出が少ないこと）、緑化駐車場施工後の緑化持続性が求められます。

## 2．芝生保護材の材質と役割

緑化駐車場においては、表面の芝生を車両踏圧から保護する必要があり、通常の施工には、芝生保護材を使用します。芝生保護材は、車両荷重に耐えることも必要ですが、緑被率（保護材露出が少ないこと）も重要なポイントとなります。保護材の材質は、ポリプロピレン樹脂リサイクル材を使用しています。

芝生保護材の材質として、

- 1．プラスチック製保護材： 支持脚頭頂部でタイヤを受け止めます。点で支持するため、緑被率が高い。
- 2．ブロック： 線支持であり、プラスチック製保護材より緑被率が低い。
- 3．間伐材： 線支持であり、プラスチック製保護材より緑被率が低い。また、間伐材は蓄熱性が高い。
- 4．コンクリート打設： タイヤ進入部全面がコンクリートとなるため、緑被率が低い。

以上の材質があります。

平成17年度に、兵庫県でヒートアイランド対策や都市緑化に効果的な緑化駐車場の普及促進を図るため、各種課題を検証する「グラスパーキング（芝生化駐車場）推進事業」が実施され、「ペブルベース」緑化駐車場もこれに参加しています。

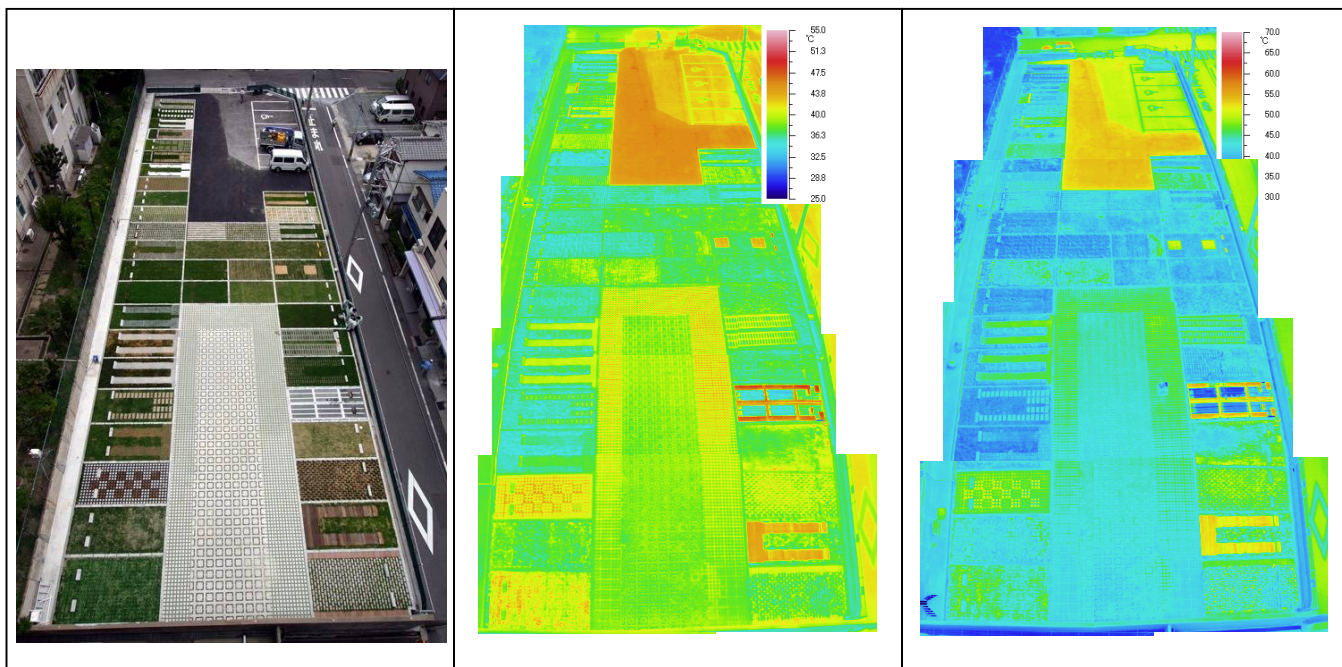
様々な種類の緑化駐車場について、ヒートアイランド対策効果、景観・歩行性、緑化持続性、コストなどを検証した結果、ペブルベース緑化駐車場は、高い評価を得ています。

赤外線カメラによる画像により、アスファルト面と芝生化された駐車場の熱分布を

比較すると、全ての時刻で北側中央のアスファルト面が、緑化駐車場より高温となっています。

日没後の21時においてもアスファルト面は高温であり、昼間の日射を蓄熱した影響が表れています。緑化駐車場の温度低減効果が確認されています。

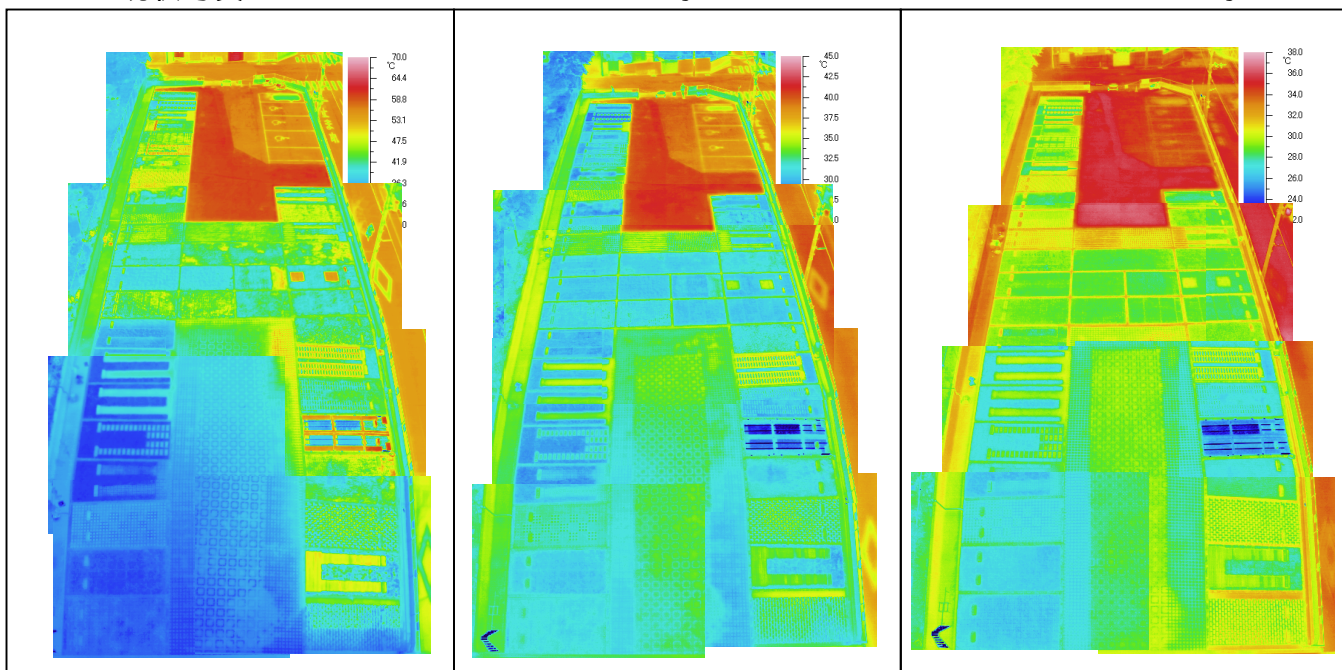
(写真：グラスパーキング調査測定実施中の駐車場)



現状写真

9時

12時



15時

18時

21時

### 「ペブルベース」ニュータイプの特長

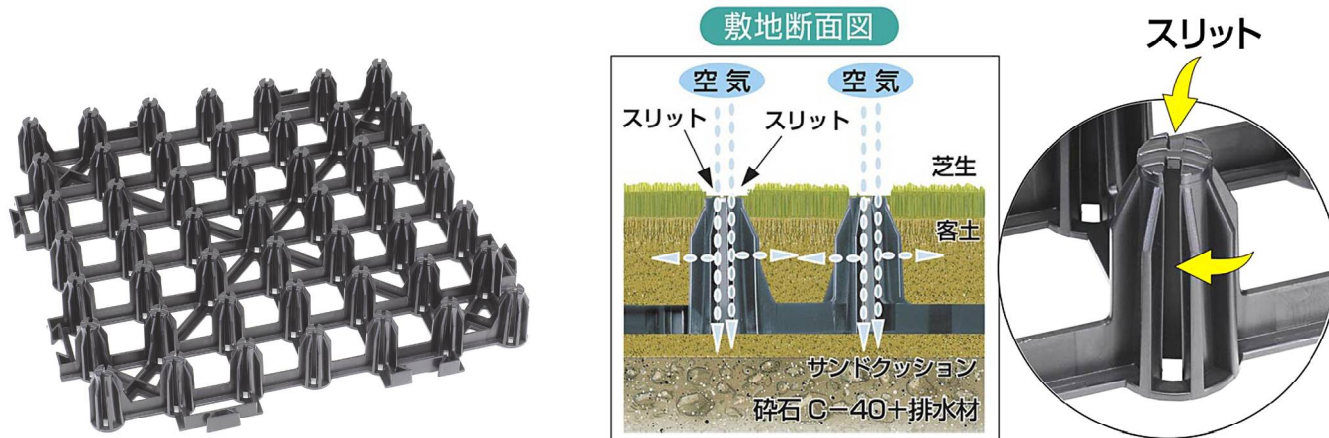
- 1.再生ポリプロピレン100%を使用しています。

2. 芝生の良好な生育条件の一つに、土壌中への空気の供給があります。

「ペブルベース」ニュータイプの支持脚に エアレーション機能用のスリットを設けることにより、土壌へ空気を効率よく供給します。

空気の供給により 土壌の締め固まりが抑制され、芝生の良好な生育を促します。

また、踏圧緩衝材を土壌に配合することにより、さらに高い効果があります。



3. 「ペブルベース」ニュータイプは、緑被率（保護材露出が少ないこと）を 94%にしており、現行品（91%）、ブロック・間伐材など（約 50%）に対して高く、芝生面積が広がります。

### 「ペブルベース」ニュータイプの概要

[品名]：「ペブルベース」

[用途]：緑化駐車場用 芝生保護材

[製品規格]

製品寸法：幅 525mm × 長さ 525mm × 高さ 70mm

[色]：2色（黒、緑）

[メーカー希望設計価格]（材料のみ、消費税は含まれておりません）

1㎡当り：黒（品番 BKN）4,320 円、 緑（品番 GRN）4,720 円

[製造拠点] 八日市工場（滋賀県東近江市）

[上市日] 平成 18 年 10 月 1 日より、販売を開始します。

[売上目標] 初年度 年間 1 億 2000 万円を見込んでいます。

<添付資料>

製品写真

兵庫県グラスパーキング推進事業 緑化駐車場の評価結果（公開資料）  
グラスパーキング(芝生化駐車場)推進事業の一部効果測定結果（速報）について

以 上

この件に関するお問い合わせは下記にお願いいたします。

< 問合せ先 > タキロン株式会社  
                  ビジネスサポート部      峯 勝 朗  
                  電話(06)6267-2690      FAX(06)6267-2654